



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 元気寿司株式会社

上場取引所 東

コード番号 9828 URL <https://www.genkisushi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 法師人 尚史

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小瀬 力

TEL 028-632-5711

四半期報告書提出予定日 2021年2月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	28,541	13.7	465		427		421	
2020年3月期第3四半期	33,055	4.8	1,691	15.6	1,703	14.6	1,110	25.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 451百万円 ( %) 2020年3月期第3四半期 1,101百万円 ( 27.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	47.71	
2020年3月期第3四半期	125.77	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	24,247	8,078	33.3
2020年3月期	20,481	8,574	41.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 8,078百万円 2020年3月期 8,574百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		0.00	15.00
2021年3月期		5.00			
2021年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,940	10.3	280		250		120		13.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	8,882,908 株	2020年3月期	8,882,908 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	55,021 株	2020年3月期	55,021 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	8,827,887 株	2020年3月期3Q	8,827,981 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大等の影響により、極めて厳しい状況で推移いたしました。

外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止へ向けた各要請等が行われる状況下での来店客数の減少、消費者の生活様式の変化等の影響を大きく受けており、かつてない厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当社グループといたしましては、2019年5月に発表いたしました中期経営計画2019-2021に基づき、当社の生命線であるQ・S・Cの維持・向上、「回転しない寿司」のノウハウの積み上げに取り組むとともに、お客様の生活様式の変化に伴う短期的な対応、ニューノーマルへの対応等を行ってまいりました。コロナ禍によって一部計画を見直したものの、方針の重点項目は不変であり、引き続き、ウィズコロナ・アフターコロナの世界で成長を描くための準備を着実に行ってまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高285億4千1百万円（前年同期比13.7%減）、営業損失4億6千5百万円（前年同期は営業利益16億9千1百万円）、経常損失4億2千7百万円（前年同期は経常利益17億3百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失4億2千1百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益11億1千万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (国内事業)

国内事業におきましては、2020年4月の緊急事態宣言発令後、自治体からの要請等を受け、全店舗で時間短縮営業または臨時休業等の対応を行いました。また、従業員の健康チェックや、手洗い・清掃・消毒等の衛生管理を徹底するとともに、飛沫感染防止用の間仕切りの設置等、各種安全安心対策に努めてまいりました。

同時に、中長期的な基本方針である「回転しない寿司の進化と拡大」に基づき、美味しさ・楽しさ・利便性等の強化に取り組み、お客様の生活様式の変化に対応した新しい商品やサービスを適宜投入してまいりました。また、プレミアム付食事券の「GoToEatキャンペーン」に参加するなど、売上高の回復に努めてまいりました。

商品・営業施策につきましては、寿司を中心に、高品質でお手頃な美味しい商品の開発、美味しく注文しやすい商品展開を行ってまいりました。100円の定番寿司メニューの更なる商品力向上に取り組むとともに、専門店に迫る麺類、ソフトクリームやフレッシュフルーツを使用したスイーツ等、寿司以外のメニューにおいても本物志向で臨み、他社との差別化を図ってまいりました。同時にテイクアウト需要の増加に合わせて、「2020年豪華セット」、「どんぶり」等のテイクアウト限定メニューの投入や、デリバリー対応店舗の拡大等の外出自粛に伴うお客様の生活様式の変化に対応してまいりました。

また、当社「公式アプリ」と当社オリジナル電子マネー「SushiCa」の連携や、全店舗QRコード決済サービスの導入、「公式アプリ」でのテイクアウト注文機能の拡充、店頭でのテイクアウト注文専用端末の設置等、利便性向上と生産性向上に取り組んでまいりました。

店舗展開につきましては、「回転しない寿司」型店舗の出店方針は維持しつつ、アフターコロナを見据え、着実に出店してまいりました。また、コロナ禍において高まるお客様の衛生意識に伝えるため、より安全安心をお届けできる店舗づくりとして、衛生的で安全で美味しい「回転しない寿司」の更なる進化に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、新設店12店舗を出店し、不採算店等8店舗を退店したことにより、国内の総店舗数は162店舗となりました。

この結果、国内事業の売上高は、256億3千3百万円（前年同期比9.4%減）、セグメント損失は4億5千万円（前年同期はセグメント利益8億9千7百万円）となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、時間短縮営業及び臨時休業等により店舗売上高が大幅に減少いたしました。また、テイクアウト需要の増加や各施策の効果等もあり、売上高は回復基調を維持しております。

#### (海外事業)

海外事業におきましては、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行拡大する中、各国の規制に従い、テイクアウトやデリバリーのみでの営業や時間短縮、臨時休業等の対応を行ってまいりました。地域により状況は異なるものの、一部地域では、感染防止策を施した上で店内飲食が再開されてきております。このような状況におきましても、子会社及び各フランチャイズパートナーと綿密に情報交換をすることで、コロナ禍での営業施策のアドバイス等を行ってまいりました。

店舗展開につきましては、8店舗を出店した一方で、12店舗を退店したことにより、海外の総店舗数は194店舗となりました。

この結果、海外事業の売上高は、29億8百万円（前年同期比38.8%減）、セグメント利益は7千2百万円（前年同期比89.3%減）となりました。新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大の影響を受けておりますが、一部地域では緩やかに売上高が回復してきたことから、セグメント利益は黒字となりました。なお、売上高は子会社の売上、フランチャイズ先への食材等売却売上、フランチャイズ先からのロイヤリティ収入（売上高の一定率等）等であります。

※中期経営計画の詳細は当社ホームページ、「決算説明資料」をご参照ください。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ37億6千6百万円増加し、242億4千7百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加14億5千5百万円、売掛金の増加2億4千3百万円、繰延税金資産の増加2億8千3百万円があったこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ42億6千1百万円増加し、161億6千8百万円となりました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定を含む）の増加33億2千1百万円、買掛金の増加6億8千万円があったこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億9千5百万円減少し、80億7千8百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上4億2千1百万円があったこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は8.6ポイント低下し、33.3%となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ14億5千5百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には49億2千1百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、6億7千8百万円（前年同四半期は26億6千8百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失6億6百万円による減少があった一方で、減価償却費14億1千3百万円による増加があったこと等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、16億4千8百万円（前年同四半期は11億1千2百万円）となりました。これは主に、店舗の新設等による支出17億7千2百万円があった一方で、差入保証金の回収2億1千5百万円があったこと等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、24億6千万円（前年同四半期は19億1千3百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入れによる収入39億5千8百万円があった一方で、リース債務の返済8億4千5百万円を行ったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年11月6日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、2度目の緊急事態宣言の発令及び各自自治体からの要請等により、国内の一部店舗で時間短縮営業を行っております。今後の新型コロナウイルス感染状況の悪化により、緊急事態宣言の対象区域の追加や実施期間の延長等が行われた場合、業績予想の修正が生じる可能性があります。

業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,465,271	4,921,083
売掛金	601,895	845,364
商品及び製品	418,249	808,331
原材料及び貯蔵品	129,233	134,836
その他	448,892	933,850
貸倒引当金	△7,026	△14,237
流動資産合計	5,056,515	7,629,229
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,167,760	9,527,053
土地	700,569	700,569
リース資産	7,258,702	7,482,504
その他	2,017,147	1,821,778
減価償却累計額	△9,884,776	△9,664,833
有形固定資産合計	9,259,404	9,867,073
無形固定資産	448,488	452,852
投資その他の資産		
差入保証金	3,847,454	4,012,517
その他	1,870,535	2,286,693
貸倒引当金	△791	△756
投資その他の資産合計	5,717,198	6,298,453
固定資産合計	15,425,091	16,618,379
資産合計	20,481,606	24,247,609

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,359,114	2,039,505
1年内返済予定の長期借入金	790,929	1,038,669
未払法人税等	360,500	203,668
賞与引当金	162,000	104,000
ポイント引当金	32,000	35,000
転貸損失引当金	7,560	7,560
資産除去債務	17,310	28,835
その他	3,592,867	3,796,748
流動負債合計	6,322,281	7,253,986
固定負債		
長期借入金	577,683	3,651,298
リース債務	4,263,187	4,509,913
転貸損失引当金	22,390	16,720
資産除去債務	657,127	684,766
その他	64,205	52,144
固定負債合計	5,584,594	8,914,843
負債合計	11,906,876	16,168,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,151,528	100,000
資本剰余金	1,344,671	2,396,200
利益剰余金	6,267,302	5,801,968
自己株式	△76,799	△76,799
株主資本合計	8,686,703	8,221,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,000	△2,170
為替換算調整勘定	△109,972	△140,418
その他の包括利益累計額合計	△111,972	△142,588
純資産合計	8,574,730	8,078,779
負債純資産合計	20,481,606	24,247,609

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	33,055,903	28,541,509
売上原価	13,480,986	11,719,527
売上総利益	19,574,917	16,821,981
販売費及び一般管理費	17,883,698	17,287,522
営業利益又は営業損失(△)	1,691,219	△465,541
営業外収益		
受取利息及び配当金	24,859	22,165
受取賃貸料	30,445	25,000
受取手数料	41,526	41,875
助成金収入	—	26,525
その他	10,755	19,440
営業外収益合計	107,587	135,008
営業外費用		
支払利息	66,021	67,845
賃貸費用	24,274	23,672
その他	4,552	5,456
営業外費用合計	94,849	96,974
経常利益又は経常損失(△)	1,703,957	△427,507
特別損失		
固定資産除却損	5,483	16,305
減損損失	26,230	135,815
賃貸借契約解約損	10,929	26,788
特別損失合計	42,643	178,909
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,661,314	△606,417
法人税、住民税及び事業税	438,599	110,871
法人税等調整額	112,440	△296,093
法人税等合計	551,039	△185,222
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,110,274	△421,195
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,110,274	△421,195



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,110,274	△421,195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	△170
為替換算調整勘定	△8,954	△30,446
その他の包括利益合計	△8,975	△30,616
四半期包括利益	1,101,298	△451,811
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,101,298	△451,811

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,661,314	△606,417
減価償却費	1,382,661	1,413,599
減損損失	26,230	135,815
貸倒引当金の増減額(△は減少)	159	7,176
賞与引当金の増減額(△は減少)	△187,000	△58,000
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△5,670	△5,670
受取利息及び受取配当金	△24,859	△22,165
支払利息	66,021	67,845
固定資産除売却損益(△は益)	5,483	16,305
賃貸借契約解約損	10,929	26,788
売上債権の増減額(△は増加)	△6,435	△243,621
たな卸資産の増減額(△は増加)	△450,727	△396,850
仕入債務の増減額(△は減少)	388,867	684,114
その他	387,979	△2,812
小計	3,254,954	1,016,107
利息及び配当金の受取額	2,950	337
利息の支払額	△66,420	△69,059
法人税等の支払額	△522,728	△269,383
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,668,756	678,002
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△612,601	△1,137,559
無形固定資産の取得による支出	△210,796	△109,000
差入保証金の差入による支出	△325,688	△526,068
差入保証金の回収による収入	181,901	215,034
その他	△145,717	△91,352
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,112,903	△1,648,946
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	3,958,904
長期借入金の返済による支出	△797,771	△609,066
リース債務の返済による支出	△850,862	△845,531
配当金の支払額	△264,839	△44,139
その他	△216	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,913,690	2,460,167
現金及び現金同等物に係る換算差額	619	△33,410
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△357,217	1,455,812
現金及び現金同等物の期首残高	4,436,895	3,465,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,079,678	4,921,083

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,300,192	4,755,711	33,055,903	—	33,055,903
セグメント間の内部売上 高または振替高	—	—	—	—	—
計	28,300,192	4,755,711	33,055,903	—	33,055,903
セグメント利益	897,158	679,830	1,576,989	114,230	1,691,219

(注) 1. セグメント利益の調整額114,230千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,633,378	2,908,130	28,541,509	—	28,541,509
セグメント間の内部売上 高または振替高	—	—	—	—	—
計	25,633,378	2,908,130	28,541,509	—	28,541,509
セグメント利益又は損失 (△)	△450,113	72,454	△377,658	△87,883	△465,541

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△87,883千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内事業」「海外事業」のセグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び退店予定の店舗等について、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において国内事業31,779千円、海外事業104,036千円であります。